学校行事参加型＋在宅取組型（小学校）

学 校 名 等	中津川市立田瀬小学校
実 施 日 時	通年　／　平成 27 年 1 月 20 日(火)9：30～11：30
会　　場	各家庭　／　田瀬小学校
参 加 人 数	全校生徒・保護者　／　全校生徒・母親委員
学習課題（分野）	一家庭一実践『家庭と学校で育てる役立つ手』／手オリンピック
運営者の願い	手先や刃物を使うことの少なくなった生活の中で、意識して手先を使う機会を設けたい。まずは一年間各家庭における家族の一員としての仕事（お手伝い）を通して、自分でできることは自分の手でやろうとする姿、手先を働かせることを面倒だと思わず意欲的に使っていく姿を育てる。また道具を安全に使えるよいきっかけにもする。３学期に設定された『手オリンピック』という競技形式の活動を『役立つ手』のまとめとし、一年間の取り組み成果を確認し合う機会にする。

学　習　の　内　容

＜　授業参観日　＞

◇『学校と家庭で育てる役立つ手』というテーマのもと、全学年で授業参観中に‘切り方’‘持ち方’‘結び方’などを児童は習い、保護者は確認をする。

授業参観日に大根を切る親子

＜　在宅取組型　＞

【親子で取り組むこと】

◇年間の『今年のしごとのめあて』を決める。

◇毎月取り組む仕事を、家族と一緒に決める。

◇毎月仕事の様子を振り返り、次の月の仕事を考える。

◇毎月、振り返りのコメントを記入する。

◇また 4～9 月の半年間の活動を振り返って、家の方からメッセージをもらう。

＜　お家の方からのメッセージ（半年間を振り返って）　＞

〇1 年生保護者

・言われなくても自分からすすんでできるようになってきたのがすごいと思います。この調子でこれからも家族を助けてください。

・片付けやカーテンを開けることは、何も言わなくてもやってくれてとても助かっています。食事のお手伝いをもう少しがんばってくれると助かります。

〇6 年生保護者

・言われなくても自分で時間を見ながら掃除をしてくれています。夕ごはんの手伝いもしてくれて助かっているよ。ありがとう。

・忙しい中、少しずつでもお手伝いをしてくれました。丁寧にするので時間はかかるけど、とてもきれいに仕事をしてくれます。後半もガンバレ!!

＜　つけた力をいつでも試せる「役立つ手コーナー」　＞

◇学校では児童玄関前に「役立つ手コーナー」を設置し、年間を通して（月ごとに種目を変えて）つけた力を試す環境を整えている。

⇒机・椅子・実物・コツの掲示・タイマー・記録用紙等がセットされ、児童らは自主的に取り組んでいる。

≪役立つ手コーナー≫

＜　手オリンピック当日　＞

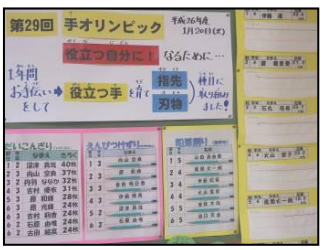
◇母親委員が、審査員として参加協力している。

〇競技内容　【低学年】（刃物競技⇒指先競技）　大根切り→鉛筆削り→豆つかみ→リボン結び

【高学年】（指先競技⇒刃物競技）　豆つかみ→運針→りんごの皮むき→鉛筆削り

高学年競技
『りんごの皮むき』

母親委員が審査する
『りんごの皮むき』



入賞者の競技作品の掲示

子どもたちの一生の宝となる伝統的な取組だと感じる。近年の子どもたちの実態をとらえ、明確なめあてを提示し『家庭と学校で役立つ手を育てる』工夫がなされている。

年間を通した指導計画によって『手オリンピック』がイベントでなく‘地道な活動の総まとめ’となるよう、学校全体で共通理解が図られている。

明確なめあてとまとめの場が設けられていることにより、親子共に在宅取組に対する意識を高く持つことができる工夫がなされている。毎日の生活の中での親子の関わりや毎月の振りかえりを通して、『自分が家族の一員として役に立つ存在』という子どもの意識が確実に育っている。

家庭に投げかけたままでなく、『手オリンピック』に向けたサポートとして校内環境の工夫がなされている。年間を通して毎月違った種目が練習できる『役立つ手コーナー』の設置により、いつでも自分の力を試すことができ、友達同士で楽しみながら育ち合う場にもなっている。